

かわいいないとっ！

小山内ゼミ 音響芸術科1H
金田 川村 桜庭 菱田 山崎

目次

- ・ライブを制作しようと思った経緯またやめた経緯
- ・公演概要書
- ・フライヤー
- ・アーティスト紹介
- ・セット図
- ・使用する SNS媒体について
- ・トラブル
- ・予算書
- ・反省感想

○ライブを制作しようと思った経緯

一年生の前期の授業でライブ制作実習があり講師の方や会場の方の力を貸していただきながらライブを作りました。またこの間の期間にライブ制作のアルバイトなどをはじめライブに関わる機会がとて増えました。実際にたくさんのライブを見てきて自分が主催のライブを作ってみたいと感じるようになり共有したところ同じ考えを持っているものが多くこうしてやってみようと考えました。

また実際に開催するのが難しいと判断した理由は経済力と時間です

話し始めたスタートが少し遅くなってしまい開催したいと考えていた箱が埋まってしまい厳しいかなと考え始めました。またコロナ渦ということをあまり考えられていなく、開催することをあきらめてしまいました。

ですが、学びたい気持ちは変わらずにあったので実際に自分たちの力だけで仮に箱を押さえ、予算を出したり本格的に進めていきました。

公演概要

公演名:かわいいないとっ！

イベント概要:かわいい夜をテーマにかわいい楽曲をメインに歌っていただくイベント

日付:2022/01/28(金曜日)

会場:渋谷 Milkyway

開場:17:00

開演:17:30

出演者:bobup 様 キャンディーzoo 様 Malcolm Mask McLaren 様

告知解禁日:01/10(月曜日)

チケット発売日:01/10(月曜日)

宣伝媒体:Twitter/Instagram

チケット価格:通常チケット¥2000 当日チケット¥3000 (1D 代別500円)

主催:金田/川村/桜庭/菱田/山崎

企画・制作:金田/川村/桜庭/菱田/山崎

お問い合わせ:代表者 2021301030@std.tohogakuen.ac.jp

フライヤー

製作者：菱田咲

・受け手にかわいいくメルヘンでファンシーという企画の方向性が一目で伝わるよう、デザインにかわいいモチーフを多く使用しました。

・夜イベントであることをアピールする為、全体を紫・ピンク・青でまとめました。

・チケット販売媒体である live pocket をサムネとして目につきやすく目立ちやすいデザインを意識しました。



AWA Night

かわいいないとっ!
in 渋谷Milkyway

2022.1.28.Friday

open 17:00 start 17:30



キャンディーズ



Malcolm Mask McLaren



bob up

17:30~18:00 bob up

18:00~18:30 Malcolm Mask McLaren

18:30~19:00 キャンディーーズ

19:15~20:25 特典会 (70分)

LIVE Pocket ¥2,000/当日 ¥3,000

アーティスト紹介

Malcolm Mask McLaren

(マルコムマスクマクラレン)

通称 MMM

2015 年に発足した 4 人組アイドルグループ

現在は渥美かな、藤崎もも、伊藤詩乃、松田えなの 4 人で活動している
ライブでは曲間 MC 一切無しで会場を湧かせるライブを心がけている。
メンバーの卒業や加入を繰り返し今の形となった

アイドルの活動の他にも TEPPEN

と呼ばれるテレビ番組に出演したり、週刊 FLASH ではグラビア掲載されるなどの活躍を見せる

3 月 5 日で藤崎ももが卒業しさらに新メンバーが加入することが決まっている



エイジアプロモーション所属アイドル

キャンディーZOO

菅谷夏子、仲原美海、南衣伶夏、柏木柚羽、小日向ひよりの 5 人で活動しているアイドルグループ

2013 年に発足

当時小学校 5.6 年生を中心に結成されたアイドルグループで動物をモチーフに動物園系アイドルユニットとしていた (ホッキョクグマ担当、パンダ担当、トラ担当、フラミンゴ担当、ペリカン担当、ペンギン担当等) 現在は躍動×キュートなアイドルユニットグループとして活動している

2 月には解散が決まっている



RIZE プロダクション所属アイドル

bobup

(ぼぼっぷ)

百瀬めぐ、森宮あい、谷野かほの
3人組グループ

2019年に発足

三組の中では新しいグループ

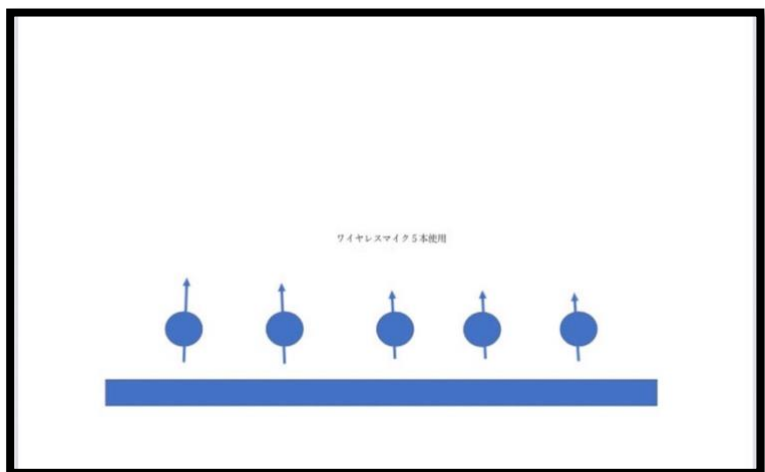
グループキャッチコピーは「令和にひょいと現れた
Real×Trend×cuteがコンセプト
のアイドルグループ」正統派
アイドルとしているがキャラは
作らずに本音で関わることをコ
ンセプトにしている。

楽曲もバライティーに富んだものとなっている



Realinfection 所属

セッティング図

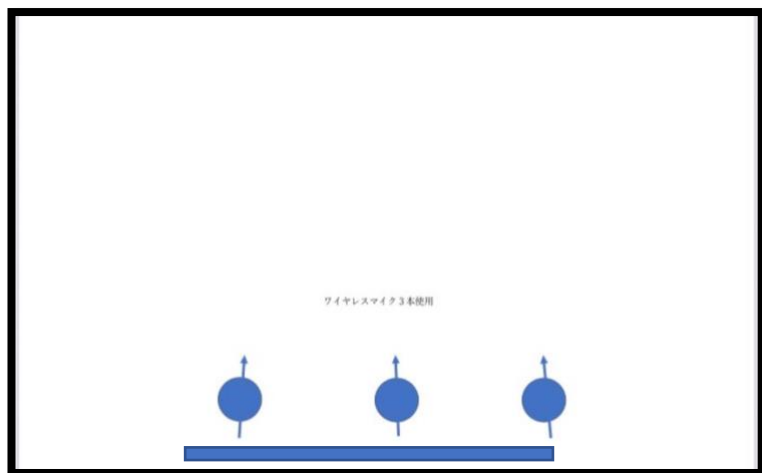
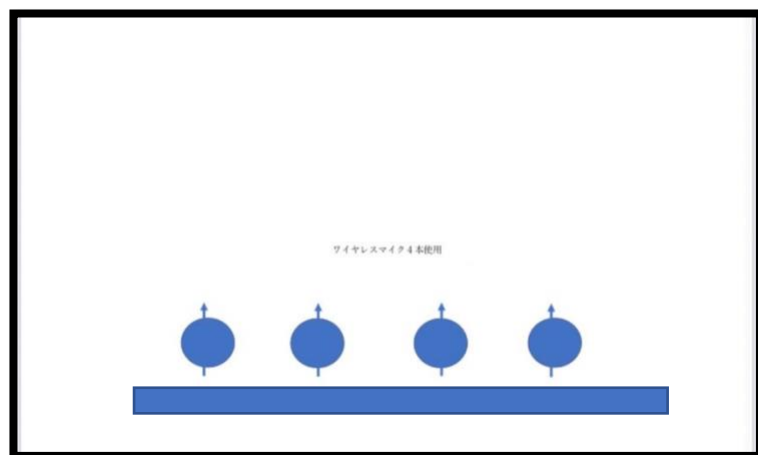


① キャンディーzoo

ワイヤレスマイク 5 本使用

② Malcolm Mask McLaren

ワイヤレスマイク 4 本使用



③ Bob up

ワイヤレスマイク 3 本使用

SNS での発信について

今回 SNS は Twitter とインスタグラムで発信しようと考えました

出演してくださるアイドルさんには Twitter アカウントを持っていることからファンの皆さんもいち早く情報をお届けしやすいのではと考えたからです。

また個人でインスタグラムのアカウントを持っているアイドルさんもあり、今回のライブテーマである「かわいい」を伝えることによりかわいいにつれられ見に来てくださる方も増えるかもと考えました。そのためインスタグラムでも発信をした方がいいと考えたので Twitter とインスタグラムにて発信します

本番を行う際に考えておかないといけないトラブルまたそうなった際の対処法

●当日券の売り切れによる会場規制

- ・事前の Twitter での情報公開時に「※当日券は売り切れる場合がございますのでご了承ください」などの記載をしておく。

●機材トラブル（箱側でなく演者側の音源）

- ・演者側に音源の予備を必ず持ってきてもらうよう周知しておく
- ・会場目の前が東急ハンズなので、呼びがない場合は購入して頂く。
- ・PC 出しの場合は必ず事前に報告してもらうようにして、会場と打ち合わせする。

●体調不良

- ・アーティストの喉のコンディションで声が出ないことは珍しいことではないと考えます。その場合は、被せの確認ができるようにもリハーサル時間を多くとっている。

●時間トラブル

- ・時間が押して箱代が余分にかからない為にも、MC の時間をしっかりと管理する。演者にはリハーサル時点で時間を把握してもらう。
- ・物販券の販売を無闇に大量に

●コロナ感染

- ・入場時全てのお客様に消毒、検温のご協力をお願いする。
- ・物販では必ず飛沫防止シート使用、演者とお客様共にマスクの着用
- ・もし、開催前に演者にコロナ感染者が出た場合、そのグループのみ出演中止になることを事前に周知しておく。

予算書

公演名

● かわいいないとっ！

公演日

● 1 月 28 日

会場

● 渋谷 Milky way

前売りチケット売上（集客数）

● bob.up 2000 × 20 ¥40000

● キャンディー zoo 2000 × 30 ¥60000

● MMM 2000 × 40 ¥8 0000

● 主催 2000 × 10 ¥20000

当日チケット売上（集客数）

● 3000 × 15 ¥45000

収入合計

● ¥245000

会場費（技術スタッフ込）

● ¥ 200000

支出合計

● ¥200000

イベント収支（収入合計－ 支出合計）

● ¥45000

まとめ（感想と反省）

●川村麗良

・感想

1 からライブを作る難しさを改めて感じました。今回はコロナの影響もあり、実際にアーティストを呼んで開催することはできませんでしたが、それでも大変だなと感じることがありました。自分が今後ライブをつくる仕事に就いたら、今回の小山内ゼミのことを思い出したいと思います。

・反省

話し合いのスタートが遅くなってしまい、少し後半に詰め込んでしまいました。もう少し計画的に進めるべきでした。また、スタッフリストやセッティングリストを作る際に、Word を使用しましたが、とても不慣れで何度も班のメンバーに質問してしまったので、ちゃんと Word の使い方を覚えたいと思います

●金田ちひろ

・感想

大変だったというのが感想になります。というのもライブを作ると最初は意気込んでいたものの結果作ことは出来ず資料作成や下調べのみとなりました。ですが資料制作でも少しだけごたついてしまい時間が取られ、下調べも上手くいかずと本当にてんやわんやで提出をしている段階です。みんなだけで作り上げていくことの大変さは実習できたかなと思います。

自分が好きなようにやればいい訳では無いと強く感じました。自分が好きなアイドルを自分が満足する時間ライブして、自分が都合のいい時間で入って出る。正直甘めな考え方で臨んでいたのでこんなにみんなの都合を確認しながら制作しないといけないのかと酷く痛感しました。タイムテーブルを制作させて頂きましたが、現場で実際見た事があるものの作ったことがなかった為とても頭を悩ませましたが、何とか資料として形になって良かったです。

資料の中に、トラブルが起こる想定 of 解決策を載せました。そちらはいい案だったのではないかと思います。実際にやってないので結果は分からないなどではなく、このように深く考えてこそ勉強だと思いました。見やすい資料作りにも気を配っていたのかなとおもいます。

次回機会と財力があれば、ライブをつくりたいです。知り合いがライブハウスを運営していたりライブ制作を勉強しているので今のうちに教えて貰いながら次に活かして行けるようにしたいと思いました

・反省

純粹にもう少し早く取り組むべきだったなと痛感しています。早めに取り組んでいればもしかしたら実際にライブを開催できたかもしれないと思うと少し悔しいです。

ライブを開催するにあたりどのくらいの規模感にしていくかやどのくらいの予算がなどをもう少し切りつめていけそうだったのでもう少し詳しくみんなで協力出来れば良かったなと思います

ですが良く頑張れたなと思うところもあるので、そこら辺はお互いに伸ばしていきまた別の機会でライブを作れたらいいなと思います

● 山崎桜美菜

・感想

前期の授業の自主企画でライブ制作をしてみて、更にライブを作りたい！自分の好きなアイドルで主催をしてみたい！という気持ちで今回のゼミでライブ制作をしようときめました。

ですが前回のライブでは先生達のサポートがありきのライブでした。1 から主催ライブを作るのをとても大変なんだなというのが 1 番感じたことです。それぞれの担当が振り分けられての作業でしたが全員が意見を皆んなからもらったり、相談しあったりして協力しながらできたと思います。これからの学校生活、仕事で今回行った経験を強みにしていきたいです。

・反省

1 つは取り組むのに遅れをとってしまったことです。

後半にピッチを上げて制作したので全員少し焦ってしまった部分があると思います。ですがその遅れを取り戻そうと全力で作業できていてチームのみんなを褒めたいです。

2 つ目は反省より悔しいという面なのですが実際にライブを行えなかったことです。また機会があったらこのメンバーで今回の反省点や得たものを活かして実際にライブを主催してみたいです。

● 菱田咲

・感想

私は以前授業内でのライブ制作でリーダーを担当していました。その際に、フライヤー制作や企画立案、書類の制作や会場の方やアーティストの方とのやり取りもしていたので、今回ある程度の段取りは理解していました。しかし、想定とはいえ実際に行うことを前提に作るので、実際に集客できる企画や、ブッキングするアイドルをどうしたらいいのか悩みました。その際に、やはり現場での経験や、現場の方の意見が役に立ちました。現場の重要性を理解する機会にもなり、非常に有効的であったと考えます。

コロナが落ち着き、じゅうぶんに集客できる時期に、今回の企画を実際に行いたいという気

持ちが強くあるので、この想定を元に、更に企画を深く練っていければという気持ちでいます。

・反省

やはり、一度ライブ制作を行ったとはいえ、段取りであったり進め方に慣れていないな、と自分の未熟さを感じました。前は授業内での取り組みであったこともあり、多くの大人の方の助けのもとに作ることができました。

学生のみ、それも未経験者だけで作るとなった時に、実際に行うことに対してやはり臆病になってしまいました。

段取りや進め方がスムーズであれば、実際に行うことも不可能ではなかったはずです。

イベンターさんも、初心者から始めたという方も話を聞くと多くいらっしゃいましたし、私達のイベントを形にしたいときっと今回のメンバー全員が思っているはずなので、是非開催したいと思いました。

●桜庭美月

・感想

こちらのゼミでメンバーとライブ制作を行うことになり、初める際絶対に大変だろうなと思っていました。さらに初めてみると想像の倍以上に大変で厳しいものだと実感しました。行動に移すのが遅く、ブッキングに時間がかかってしまったりと手こずった結果想定での資料作成などになってしまいとても悔しいです。前期に行ったライブ制作実習と結果は変わらないものになってしまいましたが、会場を抑えることは初めてで大体の予算や技術スタッフのブッキングの予算などを把握することが出来良い機会になりました。

企画を担当しましたが、ほかのメンバーと関わりがあるアイドルさんをブッキングをすることになった為詳しくない自分が企画をして良いのかと考えました。しかし、その方について自ら調べてみるととても興味を持ちどんどんこんな企画だったら面白いのではと思えるようになりました。詳しくないアーティストでも自ら調べていくことの大切さを学ぶことが出来ました。また、私は制作スタッフのバイトをしており当日の動きは分かっていたがこのようにして当日ライブが行えているのだと知ることが出来、よりこの仕事に興味を持ちました。

・反省

今回第一の反省点はやはり計画性が怠っていたことだと感じております。その結果行動に移すのも遅くなりライブを実現することが出来ませんでした。自分自身毎日アルバイトをしておりそれを言い訳に自らの仕事を後回しにしていたところも反省点であります。また、各々の仕事を1人で行ってしまった為もう少し班員同士で協力して出来れば良かったかなと実感しております。